

5. 点検評価と課題

2025 年 10 月 3 日に国際諮問委員会を開催し、分子研の研究所としての立ち位置、組織構造、研究者数、構成員の多様性、所内研究者間の交流、大学院生の獲得など、多岐に亘る意見交換を行った。委員会の議論を受けて、組織改革に関するワーキンググループを立ち上げると共に、所員の研究交流を促すランチョンセミナーの開催、定年教員の後任人事の加速など、2026 年以降の様々な施策に反映させることとした。なお、諮問委員は以下の方々である。

菊地 昇博士（座長、株式会社トヨタコンポジット研究所 代表取締役所長）、Mischa BONN 教授（Max Planck Institute for Polymer Research, Germany）、David A. LEIG 教授（The University of Manchester, UK）、James M. LISY 教授（University of Illinois Urbana-Champaign, USA）、David E. MANOLOPOULOS 教授（University of Oxford, UK）、Matthias WEIDEMÜLLER 教授（Heidelberg University, Germany）

（渡辺芳人）